

「おおふなとーくルーム ～市長と語る座談会～」の開催状況等について

担当：企画政策部デジタル戦略課

1 開催目的

市政全般に関する現状や今後の課題等について、各分野に関わる市民等より様々な視点から意見を伺い、市として取り組むべき施策等の検討に活かすことを目的として、分野別座談会を実施する。

2 開催状況

- (1) 参加者及び市長による意見交換を各回 1 時間 30 分ずつ実施した。
- (2) 分野・階層毎の問題意識や課題等を共有するとともに、自分たちで対策できることについても意見交換を行った。
- (3) 4 つのグループを設け、それぞれ 8 ～12 人、合計 36 名の参加者があった。
- (4) 各グループの意見については、別紙「おおふなとーくルーム ～市長と語る座談会～」参加者意見まとめ参照。

グループ	開催日時	開催場所	参加人数
①高校生	令和 8 年 7 月 23 日（木）17 時～18 時 30 分	カメラリアホール	12 人
②子育て世代及び関係者	令和 8 年 7 月 27 日（月）13 時 30 分～15 時	D A C C O	8 人
③商工業者及び観光関係者	令和 8 年 7 月 27 日（月）18 時～19 時 30 分	シーパル大船渡	8 人
④若手経済団体及び若手経営者	令和 8 年 7 月 28 日（火）18 時～19 時 30 分	シーパル大船渡	8 人

①高校生



②子育て世代及び関係者



③商工業者及び観光関係者



④若手経済団体及び若手経営者



3 アンケート結果

開催後に実施したアンケートの結果、14 件の回答があった。

- (1) 「参加してどの程度満足したか」という設問に対して、「とても満足」が 50%、「満足」が 28.6% だった。（「とても満足」と「満足」の合計 78.6%）

具体的には「市長さんと直接お話をする貴重な会でした」、「とても話しやすい雰囲気、市長が質問や意見に対して、一つ一つ丁寧にお話して頂き有り難うございました」「1 人ひとりの提案をしっかりと聞いていただけるというのが良いと思いました」「一方的に政策を話されるのではなく、こちらからの話を聞いていただき、意見や考えを共有させてもらう機会となり、一緒に考えていくという感覚を得られた」などの意見が出された。

- (2) 「自分の意見や考えを十分伝えることができたか」という設問に対して、「十分伝えられた」が 21.4%、「ある程度伝えられた」が 50%だった。（「十分伝えられた」と「ある程度伝えられた」の合計 71.4%）

- (3) 「他の参加者の意見を聞いて、新たな気づきや刺激があったか」という設問に対して、「多くあった」が 50%、「多少あった」が 35.7%だった。（「多くあった」と「多少あった」の合計 85.7%）

具体的には「自分の知らない小さい気づきがあり、勉強になりました」、「地元には不足しているところに、それぞれの考えが聞け、気付かされた」、「大船渡市の移住者目線の魅力、リアルな移住者の意見を聞き、大船渡の魅力を再確認することが出来た」「新たな町づくりの点で新しいイベント、文化の発展など色々な工夫や考えがあり驚きました」「今直面している子育ての課題だけでなく、今後子どもたちが成長した後の若者世代にとっての必要なことについても考えさせられた」などの意見が出された。

- (4) 「今回のような座談会の機会は、今後も必要だと思いますか」という設問に対し、「必要」が 92.9%、「どちらかといえば必要」が 7.1%だった。（「必要」と「どちらかといえば必要」の合計 100%）

- (5) 「座談会の進め方（雰囲気、進行方法など）について改善点があれば教えてください」という設問に対し、「もう少し対面の方との距離が近いといいです」、「自己紹介から始まり、雰囲気も良かったと思います」、「時間をもう少し長くして途中で休憩入れたりするという形も良いのかなと思いました」、「可能であれば椅子を使用した方が良いと思います」、「市の担当者はファシリテーションという言葉を読んでほしい。今のままでは何回やっても金と時間の無駄」などの意見が出された。

- (6) 「今回の座談会に関する感想や意見、その他市政にご意見等があれば何でも」という設問に対し、「道の駅の開設の要望、花火の際に港湾を解放してほしい」、「とても良い座談会で、時間がすぐに過ぎていました。次回は、もっと多くの市民のみなさんに参加していただきたいと思います」、「今回のように、和気あいあいをお願いします。何回も開催してください」、「語り合う度に問題の解決や、アイデアの閃きが出てきやすくなると自分は思います」、「今後とも事業者や市民✕市長や市役所職員の語り合いの場をもっと設けて良いのではないかと思います（人選はある程度必要とも思いますが）」、「この消滅危惧の地方自治体はこの先何年間、体を成すのか?」、「時間の無駄だった。もう少し参加者の質を上げるか、事前に回答を用意する形式にしてほしい」、「初めての機会で緊張しましたが、気さくに話しやすい雰囲気もあり、安心しました。このような場があると、同じ世代でもまた違う意見が聞けると思うので、今後も実施していただきたいです。また、異世代の人達が混ざって話す機会があっても面白いのではないかと感じました」などの意見が出された。